

おだがいさま

odagaisama

第 66 号
平成 28 年
10月1日 発行

災害にも強い 人・まちづくり!!!

NPO法人
鶴岡災害ボランティアネットワーク

この人たちに
聞きました!

NPO法人 鶴岡災害
ボランティアネットワーク(災ボラ)



幹事 村井勢一さん 会長 斎藤留吉さん 副会長 阿部 等さん

昨年の子ども防災キャンプ

鶴岡災害ボランティアネットワーク

平成17年「災ボラ」設立。平成22年NPO法人となる。町内会での防災マップ作成や避難所運営プログラムの支援、防災に関する研修会などを実施。

「被災地のため」から「自分のまちのため」へ

「災ボラ」は、被災地のために活動したい有志で立ち上げた組織ですが、平成19年の能登半島地震で被災地支援活動を行った時、旧門前町では日頃の見守り活動によって発災後4時間で住民の安否確認ができたことを知り、メンバーの意識が大きく変わりました。“住民同士が顔なじみになること。平時から自分のまちのことは自分たちで考えること。”こそが必要だという考えが強くなっていったのです。

「自分のまち」に目を向けた取り組み

こうした意識の変化から、大山地区の山の手町町内会に働きかけ、役員や民生委員と「防災マップ」の作成に取り組みました。作成にあたっては、とにかく参加者同士がたくさん話し合うことを重視しました。防災マップに落とし込んだ要援護者等の情報は時間の経過とともに変化するため、作成後も随時更新が必要にな

るからです。「防災マップ」は住民が自分のまちのことを自分たちで考えるきっかけとなっています。

体験を大事にしたプログラムへの挑戦!

これまで「防災マップ」の他に、避難所の運営やそこの生活を想定した訓練等、体験型の事業も行ってきましたが、参加者には子どもや孫を連れて参加して下さる人もいました。

そこで、子どもの力をもっと引き出すような事業がしたいと感じ、昨年、初めて小学生だけを対象に「子ども防災キャンプ」を企画しました。普段、自ら考え行動する機会が少ない子ども達と本気で関わることは簡単なことではありませんが、これからも子ども達の自発的な体験を手助けする場として大切にしていきたいと思っています。

「子ども防災キャンプ」は共同募金配分金事業です。皆さまからの募金を大切にに使わせていただきます。

鶴岡市災害ボランティアセンター 設置・運営マニュアルを作成しました!!

市社協では、本市で大規模災害が発生した際、被災者の支援を行うため、被災状況やニーズの把握、各地から駆けつけることが予想されるボランティアの受入れやスムーズな派遣調整などを行う災害ボランティアセンター（以下、災害VC）を設置・運営するためのマニュアルをこの3月に作成しました。

● 災害VCの概要

災害発生

段階

救命救急期

人命救助が優先される期間です。また避難生活までの移行、ライフラインの確保が行われます。

発災～3日間

市社協の動き

情報収集・災害VC設置協議

- ・情報収集 ・設置協議
- ・開設準備（資機材調達、場所の確保、スタッフ手配など）
- ・広報活動

復旧期

災害の処理・生活環境回復が行われます。ライフラインや住宅の復旧、避難所の運営が始まります。

発災～2ヵ月程度

災害VC運営開始

- ・地域ニーズの把握
- ・ボランティア受入れ、マッチング
- ・自治会等との情報共有

復興期

被災者が発災前に近い生活水準を回復するまでの期間です。

発災～5年程度

災害VC閉鎖

- ・地域ニーズの確認
- ・通常VCでの支援に移行

災害ボランティアセンターとは…

被災された皆さんができるだけ早く安全な生活を取り戻し、復旧・復興を進められるよう、ボランティアを派遣し支援していくための組織で、発災後に災害規模に応じて臨時的に設置されます。



◇災害ボランティアセンターの1日の流れ【例】

時間	スタッフ	ボランティア
8:00～	会議 開所準備	
8:30～	災害VC開所 ボランティアの 受付・ニーズ受付 ↓ マッチング（依頼内容 とボランティアの 調整） ↓ 支援活動内容、 注意事項説明 ↓ 資機材貸出 ↓ ニーズ調査・把握 依頼者との調整 集計等	登録受付・待機 ↓ 活動前オリエン テーション参加 ↓ 現場へ移動 ↓ 活動開始 ↓ 活動終了
15:00		
15:15	報告書受け取り 返却資機材受取	帰所 活動報告 用具洗浄・返却
15:45～	災害VC閉所 ミーティング	解散

なに？ 何？ どんなの？ Q&A

Q 災害VCは誰が立ち上げるのですか？

A 鶴岡市の要請を受け市社協が立上げ運営します。

Q 災害VCはどこに設置するのですか？

A 鶴岡市内でも特に被害が大きい地域に設置します。
被害エリアが広い場合は、数カ所に設置することもあります。

Q 災害VCは災害が発生するとすぐに立ち上がるのですか？

A 災害発生当初は消防や警察などによる人命救助が優先されるため、災害VCが運営を開始するのは災害発生後3～4日位になります。

Q 災害VCでは何を協力してくれるのですか？

A 災害VCでは「被災状況や支援ニーズの把握」「ボランティアの募集」「支援ニーズと活動希望者のマッチング」を行います。またボランティアの活動内容は瓦礫撤去や側溝の泥上げ、避難所での手伝いや話し相手など、被災された方ができるだけ早く普段の生活に戻るよう協力します。

“いざ”というときに備え、関係機関と連携を図り、訓練や研修など市民の方への啓発活動を行います。今年は10月30日（日）に三瀬地区で大津波を想定した鶴岡市総合防災訓練で災害VC設置訓練を行う予定です。

共同募金にご協力お願いします

〔赤い羽根募金・歳末たすけあい募金〕



○運動期間 10月1日～12月31日

○戸別募金お願い額 500円

一世帯あたりのめやす額です。

赤い羽根と歳末たすけあいを合わせた額です。

ご理解とご協力をよろしくお願いします

お寄せいただいた募金は、地域から孤立をなくす活動や、皆が安心して暮らせるまちづくりに役立てられます。

サロン活動など



障がい者の社会参加支援活動など



世代間交流活動など



就労支援活動など



育て支援活動など



第29回 赤い羽根共同募金

チャリティ社交ダンスパーティー

○日時 平成28年10月29日(土)
午後6時30分～午後9時00分

○会場 鶴岡市小真木原総合体育館

○参加費 1,000 円

※参加費の一部は共同募金に寄付されます。

○主催 チャリティ社交ダンスパーティー
実行委員会

地域・在宅福祉事業配分のご案内

○対象 NPO法人、ボランティア団体、
学区・地区社協など

○対象事業 平成29年度に行う事業で、先駆的な
社会福祉活動及び活動の立ち上げ等
への支援

○配分額 上限30万円
(総事業費の4分の3の額)

○お申込み 平成28年10月14日(金)まで

○お問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎24-0053

福祉のつどい

開催の
ご案内

日 時
平成28年10月13日(木)
午後1時20分 開会

場 所
鶴岡市中央公民館

おだがいさまのまちづくりをめざして

鶴岡市社会福祉協議会の基本理念「おだがいさまのまちづくり」を進めていくため、

* 鶴岡市社協が果たす役割とその活動を広く知っていただく。

* 地域住民・団体・関係者などの協働を呼びかける機会とする。
ことを目的に『福祉のつどい』を開催します。



12:30 受 付
13:20 オープニング
開会行事
表 彰
鶴岡市社協の活動紹介
講 演
16:00 閉 会

※当日は手話通訳・要約筆記がつきます。
※目の不自由な方で参加ご希望の方は、市社会福祉協議会までご連絡下さい。
※駐車場が限られておりますので、乗り合わせてご参加下さるようご協力をお願いいたします。



演 題 「孤立しない、させない『おだがいさまのまちづくり鶴岡』をめざして」

講 師 法政大学現代福祉学部教授
日本地域福祉研究所副理事長

みやしろ たかし
宮 城 孝 氏



平成27年度に策定した鶴岡市の地域福祉計画「つるおか地域福祉プラン2015」、鶴岡市社協の地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」において、計画策定のアドバイザーとしてご指導、ご助言いただきました。

多数の皆様のご参加をお待ちしております

情報掲示板

鶴亀番付発行のお知らせ

今年度も敬老の日に合わせて、長寿者へのお祝いと市民の励みにしていただくことを目的に鶴亀番付(長寿番付)を発行いたしました。

この鶴亀番付は、今年度より、掲載対象者を「数え年で100歳以上の方」(8月31日現在)とし、対象者ご本人や施設、公民館等へ送付させていただいております。

これから高齢の方々のご長寿を心より願っております。

東日本大震災復興応援

松田久子80才のピアノリサイタル

鶴岡市ボランティアセンター登録団体ハンドベルサークル「エーデルワイス」が賛助出演します。

*日 時 10月23日(日) 13:30開場 14:00開演

*会 場 鶴岡市マリカ市民ホール

*入場料 300円(当日受付でお支払い下さい)

*問合せ 鶴岡市ボランティアセンター TEL23-2970

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成28年7月12日～平成28年9月5日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・白糸の滝グループ 様 120,000円
・匿名 500,000円
・カップの会 様 50,000円

◎朝日福祉センターへ

・あさひ駐在所連絡協議会 様 6,250円

◎温海福祉センターへ

・五十嵐 要一 様 30,000円

★東日本大震災の避難者支援事業へ

・鶴岡市第六学区落語を楽しむ会 様 80,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ

・中田 幸雄 様 花火一式(25セット)
・大山フードセンター 様 缶ジュース30本

・長谷川三右エ門 様 ジグソーパズルパネル

・旬ドリームズファーム 様 枝豆、メロン7玉

・匿名 100,000円

★はちもりへ

・川上 隆 様 商品券5000円分

★くしびき保育園へ

・黒井 裕子 様 ベビー用おもちゃ各種

おだがいさま

第66号
平成28年10月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。